

星野リゾート 界 鬼怒川（栃木県・鬼怒川温泉）

民藝の庭プロジェクト第1弾 とろろどう 灯籠道&集いの広場誕生

界 鬼怒川のコンセプトは「とちぎ民藝が光る木漏れ日の湯宿」。四季折々の景色を望み、滞在を通じてとちぎ民藝の魅力をご体験いただけます。今冬、界 鬼怒川では、中庭の散策や滞在の中でとちぎ民藝の“用の美”をご体感いただく「民藝の庭プロジェクト」を開始します。第1弾として、益子焼と黒羽藍染の行燈でつくる「灯籠道」、その季節ならではの中庭の楽しみ方を提案する「集いの広場」が誕生します。

【2016年12月1日 誕生】

機能性と美しさを兼ね備えた、とちぎ民藝



民藝とは「民衆的工藝の略」で、陶磁器や染色品、木工家具など、毎日の衣食住に直接必要な品々をいいます。民藝運動の創始者である柳宗悦は「毎日使う実用品にこそ美しさがある」と考え、これを“用の美”と表現しました。界 鬼怒川では、伝統工芸や民藝品を創り続ける地元作家とコラボレーションし、機能性と美しさを兼ね備えた、とちぎ民藝の魅力「民藝の庭」から発信します。

NEW

夜の^{とろろどう}中庭を照らす、益子焼と黒羽藍染の灯籠道



今冬、大浴場へと続く中庭の回廊に益子焼と黒羽藍染の灯籠が並び、夜の中庭を暖かく照らす灯籠道（とろろどう）が誕生します。益子の釉薬は防水機能に優れ、古くから屋根瓦や水瓶、土鍋などに。黒羽藍染には藍の防虫効果や耐火効果があり、半纏などの仕事着に利用されてきました。益子焼で本体を造り、藍染を灯籠の障子に取り入れることで、雨にも熱にも強く、虫よけの役割も果たします。

■“用の美”の精神を現代へ伝える職人たち■

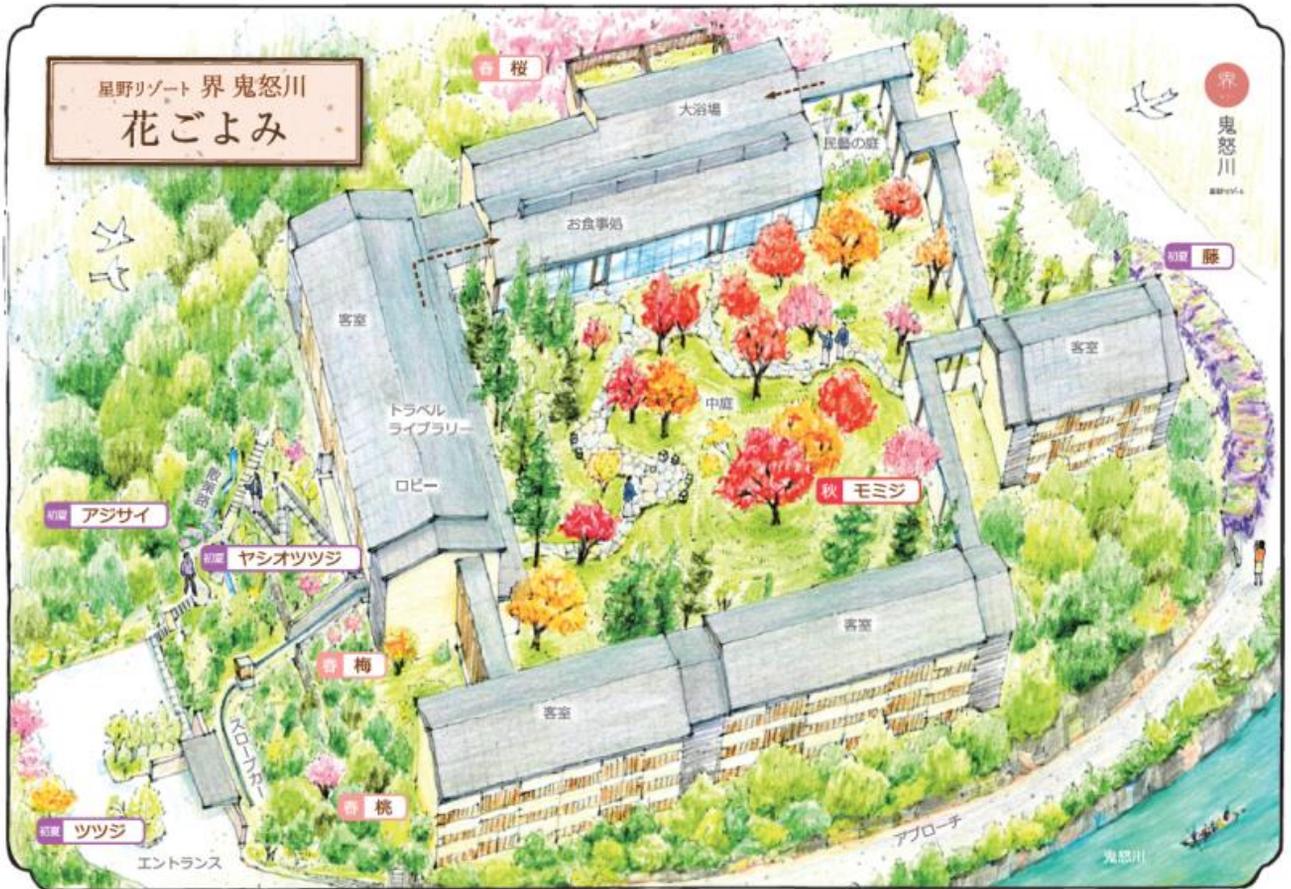
制作を手掛けたのは“用の美”の精神を現代へ伝える職人たち。伝統的製法に則りながらも、釉薬の可能性に魅了された萩原芳典氏。「益子焼の“柿釉”は深みのある不思議な色合い。決して派手ではないが、地味な中にも独特な味わいを感じられる」。もう1人は伝統的手法を守りながら、スニーカーをはじめ、現代の暮らしに合う藍染を創り続ける小沼雄大氏。「藍染に関心がなくてもスニーカーが好きなら藍染を知るきっかけになる。伝統工芸品を特別なものではなく、自然なかたちで気軽に親しんで欲しい」。二人の職人が手掛けた灯籠が放つ“用の美”の世界をお楽しみください。



写真左：萩原製陶所 5代目 萩原芳典氏
写真右：黒羽藍染紺屋 8代目 小沼雄大氏

NEW

「集いの広場」で楽しむ季節のおもてなし



四季折々の景色を眺めながら散策を楽しめる中庭に、大谷石を使った「集いの広場」が誕生します。つい立ち寄りたくなるようなお客様専用の広場です。各季節ごとに集いたくなるようなおもてなしをご用意しております。



■春の茶会

うらかな陽気の中、春らしく茶会を開催いたします。ゆったりとした気分で見上げると、鮮やかな新緑も飛び込んできます。



■夏の線香花火

夏の風物詩、線香花火をご用意いたします。ご家族で、カップルで、夜の静かな中庭で、夏を存分に感じていただけます。



■秋の音楽会

秋は色鮮やかに染まる紅葉の中庭で演奏会を開催いたします。オリジナルで製作した陶楽器の数々。陶琴の柔らかな音色が紅葉に染まる秋の森に溶け込んでいきます。



■冬の暖

寒い冬にも、集いの広場ではあたたかいおもてなしを。あたたかなお飲み物をご用意してお待ちしております。

星野リゾート 界 鬼怒川
 (栃木県・鬼怒川温泉)


星野リゾート

2015年11月新規開業。とちぎ民藝が光る木漏れ日の湯宿。鬼怒川溪流沿いの森の中に佇み、四季折々の美しい風景をご覧ください。

- ・住所：〒321-2526 栃木県日光市鬼怒川温泉滝308
- ・TEL：0570-073-011(界予約センター) / URL: <http://kai-ryokan.jp/kinugawa/>
- ・交通アクセス：【電車】鬼怒川温泉駅より車で約5分 / 【車】今市ICより約25分
- ・1泊2食付き1名様 27,000円～

このリリースに関する問い合わせ：星野リゾート グループ広報

TEL：03-5159-6323 FAX：03-6368-6853 E-mail：pr-info@hoshinoresort.com